



You Tube  
録画中継は  
こちらから



笹 渕 峰 尚  
(黎明親和会)

## 「稼ぐ行政」への転換を

### 成長重視の目標値を設定する

**問** 人口減少時代に市民サービスの水準と健全な財政を両立させるため、「稼ぐ行政」への転換を行政改革の新たな柱と位置づけるべきと考えるが、第3次総合計画に財務指標を設定する考えは。

**答** 自治体自らが稼ぐという視点を持ちながら、成果重視の目標値を設定したいと考えています。

**問** 次世代技術を持つ企業をターゲットとした誘致戦略を展開するため、旧藤坂農業試験場の活用について、サウンディング型市場調査を実施する考えは。

**答** 旧藤坂農業試験場は地方独立行政法人青森県産業技術センターが所有している施設であることから、市のサウンディング型市場調査の対象にはならないものと考えています。

**問** 令和8年に本市で開催される国スポ・障スポを稼ぐ大きな機会と捉え、予算をつけて若手職員が庁内ワークショップにより自ら収益事業を企画し、稼ぐ経営マインドを実践で学ぶ場として活用する考えは。

**答** 市をPRする絶好の機会と捉え、職員一丸となって市の魅力をしっかり届けるとともに、若手職員には費用対効果の視点を重視しつつ、地域経済の活性化を図り財源を生み出す柔軟なアイデアが期待されることから、積極的に活用していきたいと考えています。

**問** 公共施設等照明LED化事業により電気代が1年あたり約3,300万円削減される見込みとのことだが、削減された額を次の脱炭素投資に優先的に充てる考えは。

**答** 削減された額にかかわらず、脱炭素に係る事業は実施していきたいと考えています。



You Tube  
録画中継は  
こちらから



今 泉 信 明  
(立憲農民クラブ)

## 市の農業の展望は

### 持続可能な農業の実現に向け 取り組んでいく

**問** 市の農業のこれからの展望は。

**答** 持続可能な農業の実現に向け、令和8年度は意欲ある農業者に機械設備導入を支援するとわだの農業力サポート事業、農作業の省力化に有効なスマート農業技術導入支援事業、担い手の確保を図る認定新規就農者支援事業、労働力不足の解消を図る農業バイトアプリの活用をはじめとする様々な事業に取り組めます。また、とわだ産品販売戦略課を産業振興課に改称し、6次産業化や農商工連携、ふるさと納税の活用などにより、とわだ産品のブランド力向上を図るとともに、新設するシティプロモーション課で、これらの魅力を国内外に強力に発信するなど、部局横断的な取組により農業所得の向上を支援していきます。農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、農家の皆様が将来に希望を持ち、十和田市で農業を営むことに喜びと誇りを感じられるよう取り組んでいきたいと考えています。

**問** 農業用水の確保は十分か。

**答** 農業用水は、土地改良区などにより維持管理され、必要水量が供給されています。当市では農業用水の不足による営農への支障は生じていません。

**問** 消防団への加入を推進するにあたり、団の行事後の集まりの多さが原因となり家族から難色を示されることがあるとの声を聞くが、市から集まりを減らすよう働きかけることはできないか。

**答** 団の行事後の集まりは、団員同士のコミュニケーションの一環と捉えており、団員の負担や地域の状況を考慮した上で円滑な活動が維持されるよう努めていただきたいと考えています。